



平成18年7月19日

株式会社 三英社製作所

V・UGS 中間報告および操作手順について

拝啓 貴協会におかれましては、益々ご清栄の段、大慶に存じ上げます。

また、平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般発生しました「電源内蔵過電流ロック形高圧交流ガス開閉器」(以下V・UGS) 内部短絡事故に鑑み、「V・UGS 操作時のお願いについて」の書面にて甚だ勝手なお願いをさせていただき、点検・工事に際して繰り延べと、操作時の制約に於いて、ご不便とご心配をお掛けしましたこと誠に申し訳なく改めて深くお詫び申し上げます。

事故原因につきましては、当該品の運用状況等入手できておりませんが、関係機関による事故品の解体調査、事故要因分析と再現実験及び設計・製造面に亘った調査の結果、設計や構造の欠陥によるものではなく、極めて希な製造上の偶発故障であると推定するに至りました。

従って万一今回と同様な事象(ガス漏れとロック機構不動作が同時に発生)が起きた場合においても

- ・受電設備内のVCBを開放し、UGSが無負荷である。
- ・VUGSと電気設備までのケーブル長が300m以下である。

ことを確認して頂ければ、

- ・操作ハンドルによる操作
- ・制御装置の試験トリップ
- ・DGR試験器を接続しての試験トリップ

での開閉器動作には問題なく、点検作業を支障なく行うことができます。

詳細につきましては別紙作業手順に従って、安全に作業をして頂きますよう宜しくお願い致します。

また、解除文書につきましては念のため事故品と同一ロット品の調査が完了次第提出させて頂く予定です。(8月中旬を目途としております。)

皆様方には多大なるご心配と御迷惑をお掛け致しますが、何卒宜しくご配慮の程お願い申し上げます。

尚、上記に関するお問い合わせ等につきましては下記までお願い致します。

(株)三英社製作所

(平日営業時間内) 開発営業部 電話 03-3781-8132

(休日および夜間) 代 表 電話 03-3781-8111

UGS 操作方法・手順について

- ※対象となる形式は、
- ・ SH303 (300A)
 - ・ SH304 (300A、VT 内蔵形)
 - ・ SH431 (400A、VT 内蔵形)
- の三機種です。

通常の受電状態のみでは、問題は発生致しませんので調査結果が出るまでの間は、下記方法にて操作をして頂ければ安全に点検を行って頂けます。
履行の程、宜しくお願い申し上げます。

順番	UGS の開放時の操作及び注意事項
事前確認	ガス漏れ表示が「赤」の場合は UGS の使用・開放を中止し、至急弊社に連絡を下さいますようお願い致します
1	図面等にて御確認して頂き UGS、電気設備間の敷設ケーブル長が 300m 以下であることを確認して下さい
2	主遮断機を遮断して頂き、自家用設備の負荷を切離して下さい
3	UGS の開閉器パネル部を目視確認して頂き、ガス漏れ表示が「白」であることを確認して下さい
4	負荷の無いことを確認後、UGS を開放して下さい

順番	UGS 投入時の操作及び注意事項
事前確認	ガス漏れ表示が「赤」の場合は UGS の使用・投入を中止し、至急弊社に連絡を下さいますようお願い致します
1	負荷の無いことを確認後、UGS を投入して下さい
2	主遮断機を投入して頂き、自家用設備の負荷を投入して下さい
3	各ブレーカーを投入して下さい

※主遮断機を「入」にする場合は各ブレーカーが「切」「無負荷」である事を確認下さい。

尚、上記内容にそって UGS の試験を行う場合、地絡検出特性試験や過電流蓄勢トリップ試験で開閉器がトリップしても問題は御座いません。

以上